










支出命令書 (一般)

市長 **	副市長 **	教育長 **	部長 **	次長 **	課長 	課長補佐 	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 **	係長 	担当者 	入力 	財政課合議 **	検収者	

起 票 日 令和 7年 9月 8日 所 属 080100 市議会事務局

年 度 令和 7 年度 会 計 01 一般会計 予算区分 0 現年度


科 目	款	01 議会費
	項	01 議会費
	目	01 議会費
	事業	040000 議会調査研究事業
	節	18 負担金、補助及び交付金
	細 節	90 その他
	細々節	06 政務活動費

金 額	13,380 円	控 除	所 得 税	0 円	タイムカード(出勤簿)確認
支 払 回 数	14 回		雇 用 保 険 料	0 円	源泉徴収確認
負 担 行 為 額	885,599 円		そ の 他	0 円	
支 出 命 令 済 額	559,474 円		控 除 額 合 計	0 円	被服貸与台帳記載確認
負 担 行 為 残 額	326,125 円		請求書番号		通勤経路及び金額確認
源泉支払内容	*****				

件 名 10/9~10/10 栃木県宇都宮市 第87回全国都市問題会議参加負担金及び振込手数料

摘 要 黒川議員

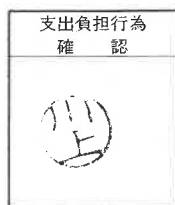
債 権 者 等	支 払 方 法	21 現金払	支 払 希 望 日	令和7年 9月17日
	住 所			
	名 称	大阪維新の会代表者 堀口 陽一		
	役職等/ 氏名			
	銀行 / 口座			
	口座名義人		債 権 者 番 号	


領 住 所 氏 名 大阪維新の会代表者 堀口 陽一 領 収 印 

上記の金額を領収しました。令和7年 9月17日

支 払 済

令和 7 年 月 日 泉大津市 会計管理者 あて











001  負担行為番号 07-004034

伝票番号 07-009617 呼出番号
整理番号 07-000012-14 00702784



07 01 01-01-01 04-00-00 18-90-06


供	議長	副議長	局長	次長	次長補佐兼 議事調査係長	庶務係長	主査	係員
覧								

別記様式第5号 (第4条関係)

政務活動費交付請求書

令和7年9月4日

泉大津市長
南出賢一様
(泉大津市議会議長経由)

会派名 大阪維新の会
代表者名 塚口陽一 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	13,380円		
内 訳	10/9~10/10 栃木県宇都宮市 第87回全国都市問題会議 参加負担金(13,000円×1名分) 及び振込手数料		
支払先	(株)JTB		
予算科目	研究研修費	交付残額	326125円
使用者名	黒川 俊明		

令和7年8月29日

請求及び受領委任状兼口座振替依頼書

第87回全国都市問題会議 参加者各位

(委任者) 住所 栃木県宇都宮市旭1丁目1番5号

氏名 第87回全国都市問題会議実行委員会 会長 佐藤 栄










下記の参加費に係る請求及び受領につきまして、次のものに委任します。

(受任者) 住所 栃木県宇都宮市池上町4-1 東栄ビル4階

氏名 株式会社JTB宇都宮支店 支店長 鹿野 英克

●参加費 第87回全国都市問題会議参加費 お一人様 ¥13,000- (不課税)

なお、請求金の支払いにつきましては下記の口座に振り替えてくださいますようお願いいたします。

銀行名	 銀行		 支店	預金種別			
口座番号							
(カナ) 口座名義							

だいしん キャッシュサービス
ご利用明細票

本日はご利用いただきありがとうございます。
ご利用明細票をご確認のうえ、お持ち帰りください。
裏面もご覧ください。

お取扱日		取扱金庫・店番・通番	
07 09 17		16300744-0577	
お取引店		口座番号	
お取引金種	万円 1	千円 3	500円 0
お取引内容	振込	100円 3	50円 1
手数料	¥380	ページ	お取引金額
時刻	13:31		¥13,000*
説明コード	お取引後残高		

銀行
支店

お受取人

ご依頼人

イスマジオツシキカイ クロカワ トシアキ
様 0725-33-1131

印紙税申告納
付
税務署承認済

大阪信用金庫

開 催 要 領

1. 主催者

【主催】 全国市長会、(公財)後藤・安田記念東京都市研究所、(公財)日本都市センター、宇都宮市

【協賛】 (公財)全国市長会館

2. 開催日時・会議の内容(日程 4ページ、講師略歴 5、6ページ)

【第1日】 令和7年10月 9日(木) 9:30 開会 (受付開始 8:30)
基調講演、主報告、一般報告

【第2日】 令和7年10月10日(金) 9:30 開会 (開 場 8:30)
パネルディスカッション、行政視察(事前申込者のみ・有料)

3. 開催場所(会場アクセス 7ページ)

ライトキューブ宇都宮

〒321-0969 栃木県宇都宮市宮みらい1-20 TEL:028-611-5522

4. 議題(議題解説 8ページ)

「成熟社会の都市のかたち ～コンパクトで持続可能なまちづくり～」

5. 会議参加費

1名につき 13,000円

※ 1日目の昼食弁当代、会議配布資料代等を含みます。

※ 会議参加費は、事務局に代わり運營業務委託会社である株式会社JTBが代行收受します。

※ 9月20日(土)以降に参加を取消された場合は、会議参加費の返金はできません。

※ 悪天候や感染症の影響等により、会議の開催を中止又は開催内容を変更する場合があります。また、その場合も、会議参加費を返金できないことがあります。

※ 会議参加費の領収証は、会議当日にお一人様1枚ずつお渡します。

6. 会議の参加・宿泊のお申込み(参加申込方法 14ページ、宿泊のご案内 21ページ)

下記の期間にWEB申込みにより受付します。14ページの申込方法を確認ください。

【申込開始日】 令和7年7月28日(月) 10:00 から

【申込締切日】 令和7年8月 8日(金) 17:00 必着

【結果公開日】 令和7年8月22日(金) 13:00










※ 申込者が定員(1,800名予定)を超えた場合は抽選を行います。

(抽選対象者:市区議会議員(議長及びその随行者は除く)及び議会事務局職員)

※ 随行者についても参加申込みが必要です。

※ 庁内LANのセキュリティ等の関係で参加申込専用ページにアクセスできない方に限り、メールでの受付を行います。(回答は5営業日以内にメールにて行います)

支出命令書 (一般)

市長 **	副市長 **	教育長 **	部長 **	次長 **	課長 	課長補佐 	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 **	係長 	担当者 	入力 	財政課合議 **	検収者	


起票日	令和 7年 9月 19日	所属	080100 市議会事務局
年度	令和 7年度	会計	01 一般会計
科目	01 議会費	予算区分	0 現年度
目	01 議会費		
事業	040000 議会調査研究事業		
節	18 負担金、補助及び交付金		
細節	90 その他		
細々節	06 政務活動費		

金額	74,460 円	所得税	0 円	タイムカード(出勤簿)確認	
支払回数	15 回	雇用保険料	0 円	源泉徴収確認	
負担行為額	885,599 円	その他	0 円	被服貸与台帳記載確認	
支出命令済額	633,934 円	控除額合計	0 円	通勤経路及び金額確認	
負担行為残額	251,665 円	請求書番号			
源泉支払内容	*****				

件名 10/8~10/10 栃木県宇都宮市 第87回全国都市問題会議参加旅費

摘要 黒川議員

支払方法	21 現金払	支払希望日	令和7年 10月 7日
住所			
名称	大阪維新の会代表者 堀口 陽一		
役職等/氏名			
銀行/口座			
口座名義人			
債権者番号			

領収 住所 氏名 大阪維新の会代表者 堀口 陽一 領収印 

上記の金額を領収しました。 令和7年 10月 7日

支払済









令和 年 月 日 泉大津市 会計管理者 あて



001 負担行為番号 07-004034
伝票番号 呼出番号 07-010376
整理番号 07-000012-15 00704940



07 01 01-01-01 04-00-00 18-90-06

供	議長	副議長	局長	次長	次長補佐兼 議事調査係長	庶務係長	主査	係員
覧								


別記様式第5号（第4条関係）

政務活動費交付請求書

令和7年9月19日

泉大津市長
南出賢一様
(泉大津市議会議長経由)

会派名
代表者名

大阪維新の会
堀口陽一 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	74,460円		
内 訳	10/8~10/10 栃木県宇都宮市 第87回全国都市問題会議参加旅費		
支払先	黒川 俊明		
予算科目	旅費	交付残額	25,665円
使用者名	黒川 俊明		

令和7年度

出張申請書

(出張)

会派名	大阪維新の会		氏名	黒川 俊明				
出発・帰庁年月日		出発 令和7年10月8日		帰庁 令和7年10月10日				
出張先(順路) ライトキューブ宇都宮(栃木県宇都宮市宮みらい1-20)								
目的及び用件 第87回全国都市問題会議に参加								
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津 (南海本線) なんば	km	円	円	円	円	円	円	円
		490						490
" (大阪メトロ御堂筋線) 新大阪		290						290
" (東海道新幹線) 東京	556.4		特急料金 (のぞみ) 5,810					5,810
" (東北新幹線) 宇都宮	665.9		特急料金 (やまびこ)	閑散期 △ 200	2泊 30,000	3日 7,000		
	109.5	9,000	3,040					48,840
" (線) 東京	109.5		特急料金 (やまびこ) 3,040	繁忙期 200				3,240
" (線) 新大阪	556.4		特急料金 (のぞみ)	繁忙期 200				
	665.9	9,000	5,810					15,010
" (線) 復路		780						780
" (線)								
" (線)								
" (線)								
" (線)							計	74,460
" (線)								

10月9日の日当については、泉大津市職員旅費条例第23条及び同条例施行規則第4条の規定により支給しない。

主管課用









令和7年度

領収書兼旅費明細書

(出張)

会派名	大阪維新の会	氏名	黒川 俊明					
出発・帰庁年月日	出発 令和7年10月8日	帰庁 令和7年10月10日						
出張先(順路)	ライトキューブ宇都宮(栃木県宇都宮市宮みらい1-20)							
目的及び用件	第87回全国都市問題会議に参加							
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津 (南海本線) なんば	km	円	円	円	円	円	円	円
" (大阪メトロ御堂筋線) 新大阪		490						490
" (東海道新幹線) 東京	556.4		特急料金 (のぞみ) 5,810					5,810
" (東北新幹線) 宇都宮	665.9 109.5	(往復割引) 9,000	特急料金 (やまびこ) 3,040	閑散期 △ 200	2泊 30,000	3日 7,000		48,840
" (線) 東京	109.5		特急料金 (やまびこ) 3,040	繁忙期 200				3,240
" (線) 新大阪	556.4 665.9	(往復割引) 9,000	特急料金 (のぞみ) 5,810	繁忙期 200				15,010
" (線) 復路		780						780
" (線)			10月9日の日当については、泉大津市職員旅費条例第23条及び同条例施行規則第4条の規定により支給しない。					
" (線)								
" (線)							計	74,460
" (線)								
右の金額領収いたしました。				金額	¥ 74,460			
令和 年 月 日				職名	大阪維新の会			
泉大津市会計管理者 殿				氏名	黒川 俊明  印			

□決 裁 ■供 覧

受発記号・番号				收受年月日	令和7年10月29日			
差出 名		黒川 俊明						
あて 名		泉大津市議会議長				提出期限		
收受文書の記号				收受文書の日付	令和7年10月24日			
件 名		報告書						
議長		副議長		事務局長		次長		合
								
主 管	次長補佐兼 議事調査係長	庶務係長		主査		係員		議
								
処 理 上 の 意 見 及 び 注 意 事 項								
<p>日 時：令和7年10月9日（木）～令和7年10月10日（金）</p> <p>出張先：栃木県宇都宮市 ライトキューブ宇都宮</p> <p>目 的：第87回全国都市問題会議に参加</p>								

会派代表



報 告 書

令和 7 年 10 月 24 日

泉大津市議会議長 様

(会派名) 大阪維新の会

出張者氏名 黒川俊明



下記により出張しましたので、その概要について報告いたします。

記

1. 日 時 令和 7 年 10 月 9 日 (木) ～ 10 月 10 日 (金)
2. 出張先 栃木県宇都宮市
ライトキューブ宇都宮
3. 目的 第 87 回全国都市問題会議
4. 報告事項 別紙添付

報告事項

今回の全国都市問題会議のテーマは「成熟社会の都市のかたち」であり、サブタイトルが「コンパクトで持続可能なまちづくり」でありました。

まさに、コンパクトシティである本市には大きく関連する内容が多いのではないかと期待して参加を致しました。と申しますのは、過去に2回、都市問題会議に参加をさせて頂きましたが、2回ともに収穫の多い会議であったからです。とは言え、全国の先進事例を知ることが出来るのですが、多くの内容が本市に当てはまらない事もあり、内容が良くて先進事例も知れることは意義深いのですが、その内容を本市に影響させることが出来るかがポイントと考えております。

また、全国から多くの議員が出席するので、参考になった事例は多くの方が既に知り得た内容となる為、独自性は発揮しにくいのかもかもしれませんが、やはり成功事例や先進事例を見聞きし、また他市の熱い想いを持った市長などの話を聞くことも、心に刺激を受けることが出来ます。

さて、肝心の今年の内容についてですが、様々な気づきがありました。鎌倉幕府時代は750万人、江戸に入って1300万人から享保の頃には3100万人となり、明治維新の頃は3300万人。これが日本の人口の推移だったとのこと。

現在は1億2千万人を超える人口が、今後は大きく減少していくと言われていますが、上記の日本人口の推移を聞きますと、今から75年後の西暦2100年頃の日本の人口推定数は5000～7500万人と考えられており、150年前の明治維新時（1868年）よりも多い数字です。

この数字から考えると、短期間で増えすぎた人口であり、人口減少を嘆くのではなく、それに合わせた住みやすく持続可能な社会にシフトをする時期であると認識を新たにしました。

昭和が拡大成長期であり、平成は失われた時代と呼ばれています。現在の令和は「成熟社会への移行」と位置づけされていました。

これまでの日本社会は、アメリカ同様に「車社会」であり、道も「自動車中心」に考えられて整備されてきたのですが、その点においてヨーロッパ社会は古くからの街並みが残っており、その街並みこそが昔

ていく過程にあると考えます。

「車中心」「移動も効率やスピード」を重視する社会から、「人中心」「歩いて快適に暮らせる」そんな街づくりが特に地方では重要ではないかと感じます。

これまで、東京や首都圏への「一極集中社会」であったが、今後は「多極分散」社会を目指すべしとの内容も出て参りました。この「多極分散」という発想は、日本全体でもそうですが、地域でも同じ発想が出来ると考えました。例えば、日本全体での多極分散にはもちろん大阪も含まれます。そして、大阪の中での多極分散の1つの極に本市が成れるポテンシャルは持っています。また、本市内でも極をいくつか出来て、その極同士が連携することが、街づくりであると再確認できました。

他には「縮充」という言葉を初めて聞き、学びとなりました。人口減少社会では、1つの市に様々な機能のある「ハコモノ」は財政と運営で考えると不可能であり、「縮めるが充実させる発想」は大事であると理解できました。

例えば、とある市立の図書館での調査では、その図書館の利用に当たっては、市民のほぼ10%程度しか利用していないとのこと。図書カードを持っている市民の割合は20%程度。その中で1年に1回以上の利用者は半数。限られた利用者の中の1割が貸し出しの中の90%を借りていて、年間に30回以上利用する人は人口の0.1%程度とのことでした。

こういった利用の内容を施設ごとにチェックしていくと、新しいヒントが見えてくる気がしました。

今回の参加で、本市にとっての今後の街づくりの方向性において非常に参考になりました。宇都宮市の考え方をお聴きした後に、実際に宇都宮市を走っているLRT（次世代型路面電車）に乗ったことも参考になりました。

現在、私は、北助松エリア、特に駅周辺の「ウォーカブルな街づくり」に関心を持ち、周辺の住民の方々と意見交換し連携し出来ることから現実化に向けて進めております。

そして、去年も感じたのが、「スポーツや音楽など何かで町の特色を出すことは出来ないか？」という課題です。プロのスポーツチームが、活動の拠点となっている都市は、そのスポーツやチームを軸に町おこしを行なっています。その観点からみると「どこか本市に来てくれるチーム

は無いものか？」と考えがちですが、チームではなく、ある競技の「大会」を開催する方法も、本市の交流人口・関係人口を増やし、市に活気を付ける1つの方策だと気が付きました。

今回の内容からの様々なヒントや情報を、今後の本市での街づくりに活かせるように、出来ることから1つずつ進めて参ります。